

東京学芸大学書道科同窓会

硯心会だより 第12号

発行
2023年10月1日

今年度開催した諸行事についての報告

第47回学芸書道全国展について

第47回学芸書道全国展の開催について、硯心会の皆様には出品する児童・生徒の指導者として、審査や運営に携わる一員として、毎年広くご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

昨年より出品点数も増え、全国の146団体、9795点の作品が集まりました。うち202点は、今回より漢字仮名交じりの書の作品制作を奨励するために設けた特別部門の出品でした。子どもたちの声をそのまま表現し、言葉を楽しんで書いてもらいたい。自ら考え、どのように書くか考え、試行錯誤して書に取り組み、表現してもらいたい。と企画したものです。202点の作品は硯心会役員の先生方に審査いただき、概ね意図が伝わっていることが確認できました。

東京都美術館での開催となつて以来、授与ができております文部科学大臣賞を筆頭に、全国からレベルの高い

作品が上野で展示されると共に、毛筆を表現の活動の場として児童生徒に楽しんでもらえる入口としても発展できればと考えておりますので、引き続きよろしく願います。

また、今回の作品返送作業においては、一部の団体の梱包が適切に行われなかったという課題も残しました。関係の団体にお詫びすると共に、次回展までには対応策を考え、学芸書道全国展が更に発展するよう努力いたします。

第42回硯心会書展について

今年度の硯心会書展は、去る令和5年8月23日（水）から30日（水）まで東京都美術館2階第4展示室にて開

催いたしました。

同展は第3期から第71期（2022年度卒業）の115名の皆様にご出品をいただきました。心より御礼申し上げます。会期中は新型コロナウイルス感染症も終息に向かいつつある状況の中で、約2000人もの来場者を迎えることができました。

また特別展示として「33期（1985年卒業）有志展」を開催し、8名（新規出品者2名）にご出品いただきました。還暦を迎え、節目の年として新たな一歩を踏み出す機会となりました。

この硯心会書展は、長きにわたり諸先輩の皆様、会員の皆様のご支援ご協力のもと、世代を超えて脈々と受け継がれております。加えて多くの新会員の皆様のご出品により、毎年若い世代を迎えることができますことは誠に喜ばしい限りです。

また本展を通して様々な世代間交流を深める場にもなっており、今後の硯心会の更なる発展に繋がると確信しております。

今後とも会員の皆様の一層の尽力添えをお願い申し上げます。

部長 殿村美奈子（33期）



学芸書道全国展の会場の様子



硯心会書展の会場の様子



学芸書道全国展表彰式

同期展・同期会開催報告

特別展示として「33期（1985年卒業）有志展」を開催し、8名の同期が出品しました。

その33期同期展開催に合わせて8月26日（土）、銀座にて33期同期会を開催いたしました。還暦を記念して13名が集まりました。

上野の硯心会書展にも足をお運びいただき、大学の書道科時代が懐かしく思い出されました。

33期理事 殿村美奈子



硯心会書展の会場の様子



同期会の後に同期で



同期展スペースの前で

伊藤滋講演会「碑法帖の魅力」

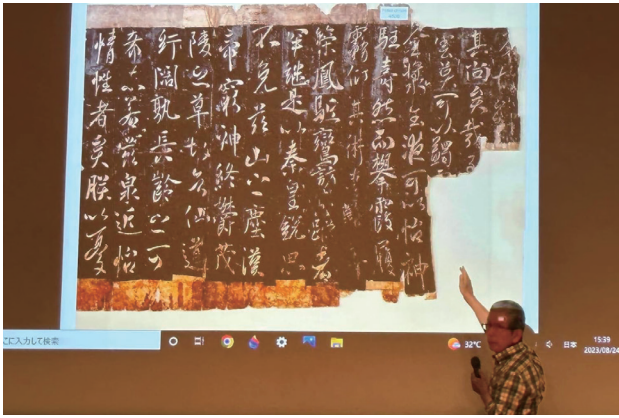
2023年8月24日（木）15時より、東京都美術館講堂にて、本学16期卒業生・伊藤滋先生による講演会「碑法帖の魅力」が開催されました。その概要を報告します。

ご講演では、まず拓の採り方、それに必要な道具などについて説明いただきました。拓をとる際の適度な水分、墨の濃さ、あるいは擦拓、蟬翼拓、烏金拓それぞれの特徴について、画像を取り上げながら分かりやすくお話しいただきました。

引き続き、スライドにてさまざまな刻石が紹介されました。その中には書のみならず画像石も多くあり、目を惹かれました。

さらに、本年度の硯心会書展において特別展示として鑑賞に供されていた伊藤先生ご所蔵の碑法帖について解説くださいました。展示された碑法帖には以下のものがありました。

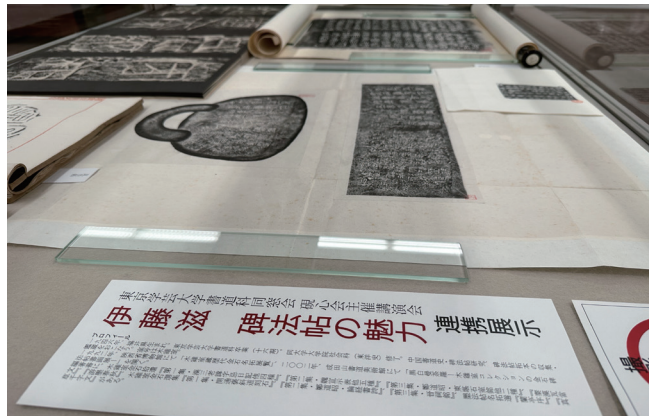
甲骨文、大孟鼎、萊子侯刻石、瓦当、曹全碑、礼器碑、乙瑛碑、爨宝子碑、蘭亭序（神龍半印本・張金界奴本）、黄庭経、宣示表、十七帖、龍門造像記、



講演会の様子

これだけの碑法帖が一堂に会することは、大きな博物館の企画展でもなかなか実現し難いものと思います。これらの展示は伊藤先生の硯心会に対するご厚意にて実現したものです。伊藤先生のご講演における貴重なお話、そして特別展示へのコレクションのご提供に対し、この場をお借りして心より御礼申し上げます。ありがとうございます
53期 城間圭太

論経書詩、元頭備墓誌銘、温泉銘、集字聖教序、皇甫誕碑、雁塔聖教序、枯樹賦、哀冊、顔氏家廟碑、争座位稿、他。



講演会との連携展示



講演会の様子

合同同窓会報告

コロナ禍が開け、ようやく開催できた合同同窓会には、34名の先生方にご参加いただきました。冒頭、長野会長から、学芸展および硯心会書展を上野



合同同窓会終了後に

68期 林 美月

の地でおこなう意義と喜びについてのお言葉があり、和やかな雰囲気では進められました。久しぶりに先輩や後輩と顔を合わせ書表現や教育のことについてお話しでき、卒業生同士の繋がりを感慨深く思いました。幅広い世代が集まる貴重な機会として、今後も継続していきたいと考えております。ご参加いただいた先生方、誠にありがとうございました。

理事会・総会報告

硯心会書展、学芸書道全国展搬入後
8月22日(火) 18時から東京文化会館
会議室にて理事会を、会期中8月24日(木) 10時から総会を開催し、各事業の報告および審議をいただきました。

報告事項については、第42回硯心会書展、第47回学芸書道全国展、特別展示、特別企画について、各部局から詳細な報告をいただきました。

審議事項としては、役員改選の年であり、2024年度からの新役員の提案があり、理事会、総会にて承認されました。また、硯心会書展部、学芸書道全国展部について提案があり、近年の物価高にともなう硯心会書展、学芸書道全国展の出品料の値上げの検討についての議論が交わされるとともに(春季理事会での継続審議)、学芸書道全国展の表装等の変更が議論されました。また、高齢の期の方の招待展示や出品料値下げについても参加の理事から提案があり、検討事項となりました。次回の理事会(役員・理事)は2月、総会は8月開催の予定です。理事および会員皆様の参加をお待ちしております。
52期 草津祐介

千葉硯心会活動報告

昭和46年に発足した千葉硯心会は、昨年8月に50回の記念展を開催しました。作品集も作成し、50年の歩みを振り返りました。今年度に入って若干の会員増もあり、新たな半世紀に向け、各自いっそうの研鑽努力を積んでいく所存です。ご支援・ご教導のほど、よろしくお願い申し上げます。

さて、去る8月1日〜6日には、第51回展を千葉県立美術館にて開催して次なる第一歩を踏み出したところで、新会員の出品も含め、29点の作品を展示することができました。小品から大作まで、バラエティーに富んだ作品が集まりました。連日の35度超えという酷暑の中、500名近くものご来場をいただき、深謝申し上げます。

千葉硯心会事務局 石井昭正（31期）



埼玉硯心会活動報告

令和5年7月29日（土）〜8月1日（火）の日程で埼玉会館第一・二展示室において第四十四回埼玉硯心会書展が開催されました。24名の作品を展覧しました。厳しい暑さの中心配でしたが沢山のご観覧を頂き、盛会裏に終えることができました。猛暑にも拘らず遠路足をお運び下さった皆様本当に有り難うございました。

今回は、事前の作品研究会も3回おこなわれ、互いに作品批評し合って作品制作に取り組むことができました。会場が、会館の都合で変更になり、大きさの制限がありました。力作が並び、落ち着いた雰囲気の中でゆっくりと作品鑑賞ができて、会員相互の研修・親睦のよい機会になりました。

第45回展は、令和6年8月17日（土）

〜20日（火）埼玉会館第一・二展示室で開催予定です。よろしくお願ひ致します。

埼玉県に在住、在勤の皆様お仲間になりませんか。学生の方々も大歓迎です。ご一報いただけますと嬉しいです。今後の予定として、墨蹟や美術館の企画展鑑賞などで研修できればと思います。

埼玉硯心会事務局 杉山恵美（25期）

開催報告・案内

第6回 書を楽しむ作品展

21期松本栖雪（礼子）主宰、45期松本貴子（淑勝貴子）らによる展覧会を、千葉そごう地下一階ギャラリーにて、令和5年2月21日〜27日に開催いたしました。お陰さまで、毎回600人超の方々にご高覧いただいております。会場中央に設けている水書コーナーはとても好評で、出品者と同様に老若男女問わず、楽しそうに体験されている姿を多く見受けられます。

本年も楽しんで書いた書を出品できるように制作していきます。本年度の会期は、令和6年2月20日から27日までです。お時間がありましたら、ご高覧いただけると嬉しいです。

21期 松本礼子



東京学芸大学創基百五十周年記念 書道専攻・コース書作展

2023年11月2日（木）〜5日（日）
9時〜18時（2日）、3日は15時〜

東京学芸大学芸術館

※期間中11月3日（金）〜5日（日）は東京学芸大学の文化祭を開催しています。



濱崎道子 不死鳥

2023年11月19日（日）〜30日（木）
六本木ストライプスペース
19日15時からオープニングパフォーマンス、26日15時からサプライズパフォーマンスがあります。



松原直也書作展

2024年1月8日（月・祝）〜
1月14日（日）11時〜19時（初日は16時から、最終日は17時まで）
銀座大黒屋ギャラリー6階



高橋敏行書作展〜今おもつこと〜

併催 書道サークル睦庵展
2024年3月25日（月）〜31日（日）
船橋市民ギャラリー第四展示室

展覧会（個展、同期展）の開催予告、開催報告、出版等の情報を掲載希望と明記の上、事務局・草津までお寄せください。

発行

硯心会事務局 ☎184-8501
東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学 草津祐介研究室内
メール usk932@hotmail.co.jp

硯心会HP

